

EXCENEL RTU EZ



マンヘミア性肺炎の治療に有効な
新しいセフトフル製剤

エクセネル[®] RTU EZ

zoetis[®]

より打ちやすくなった、 エクセネル[®] RTU EZ。



主剤は、確かな実績のセフトオフル

- 生産現場で問題となるマンヘミア性肺炎の治療に有効です。
- ターゲット細菌に耐性化傾向はありません。

振って打つ、溶解済みのエクセネル[®]

- これまでよりも注射がラクになりました。
- 開封後も42日間、室温で保存できます。

easy
こんなに時短、こんなに簡単に！



STEP
01 よく混ぜる



STEP
02 注射器で
薬剤を吸う

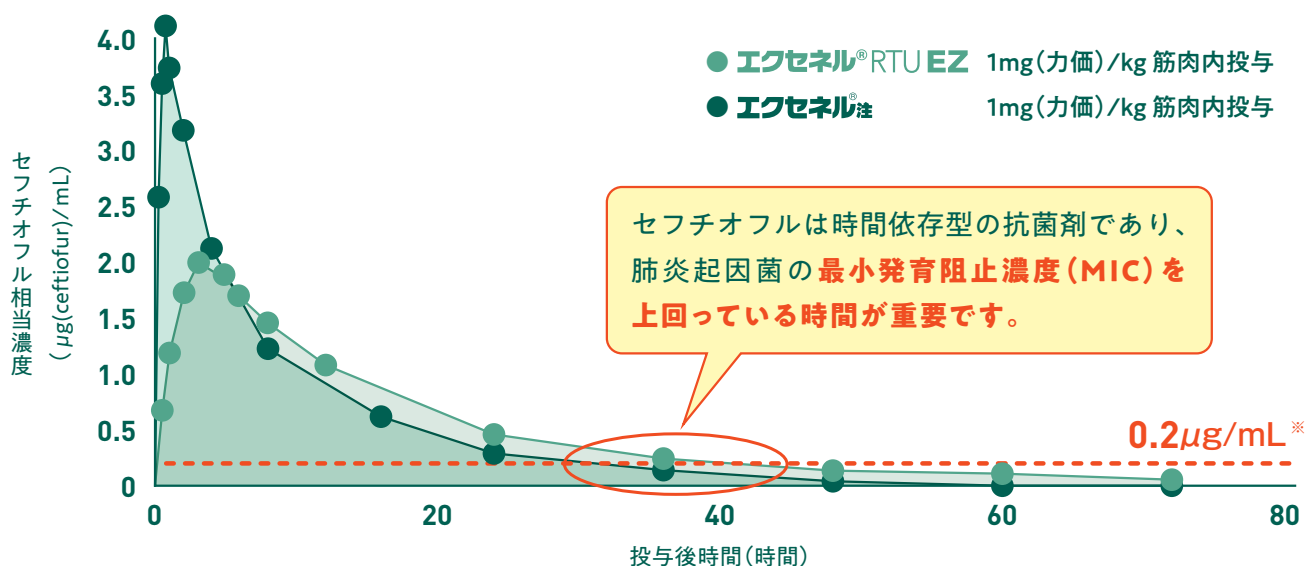


STEP
03 投与

本剤は油性懸濁剤のため、粘性があります。室温で保存してください。

優れた効果はそのまもの、エクセネル® RTU

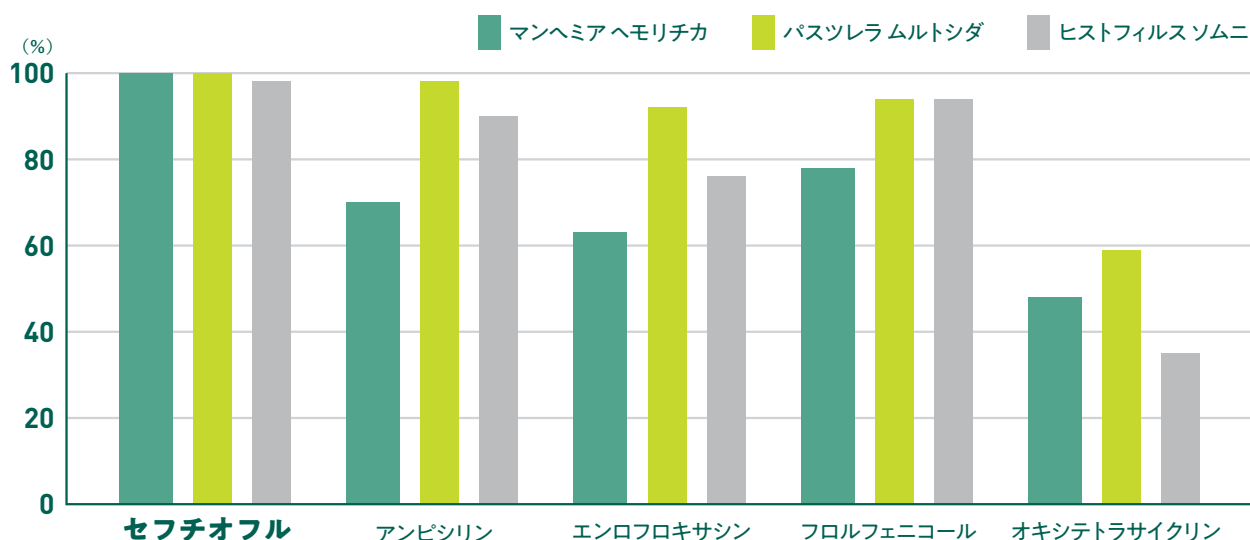
■ エクセネル® RTU EZ 投与後の血漿中濃度推移：エクセネル®注との比較



*0.2µg/mLは主たる細菌性肺炎の起因菌に対するセフチオフルのMIC₉₀を数倍上回る濃度であり、臨床的な有効性を示す一つの基準 (Yancy et al, 1987)

(申請資料)

■ 各種抗菌剤に対する感受性株の割合(2013~2015年)



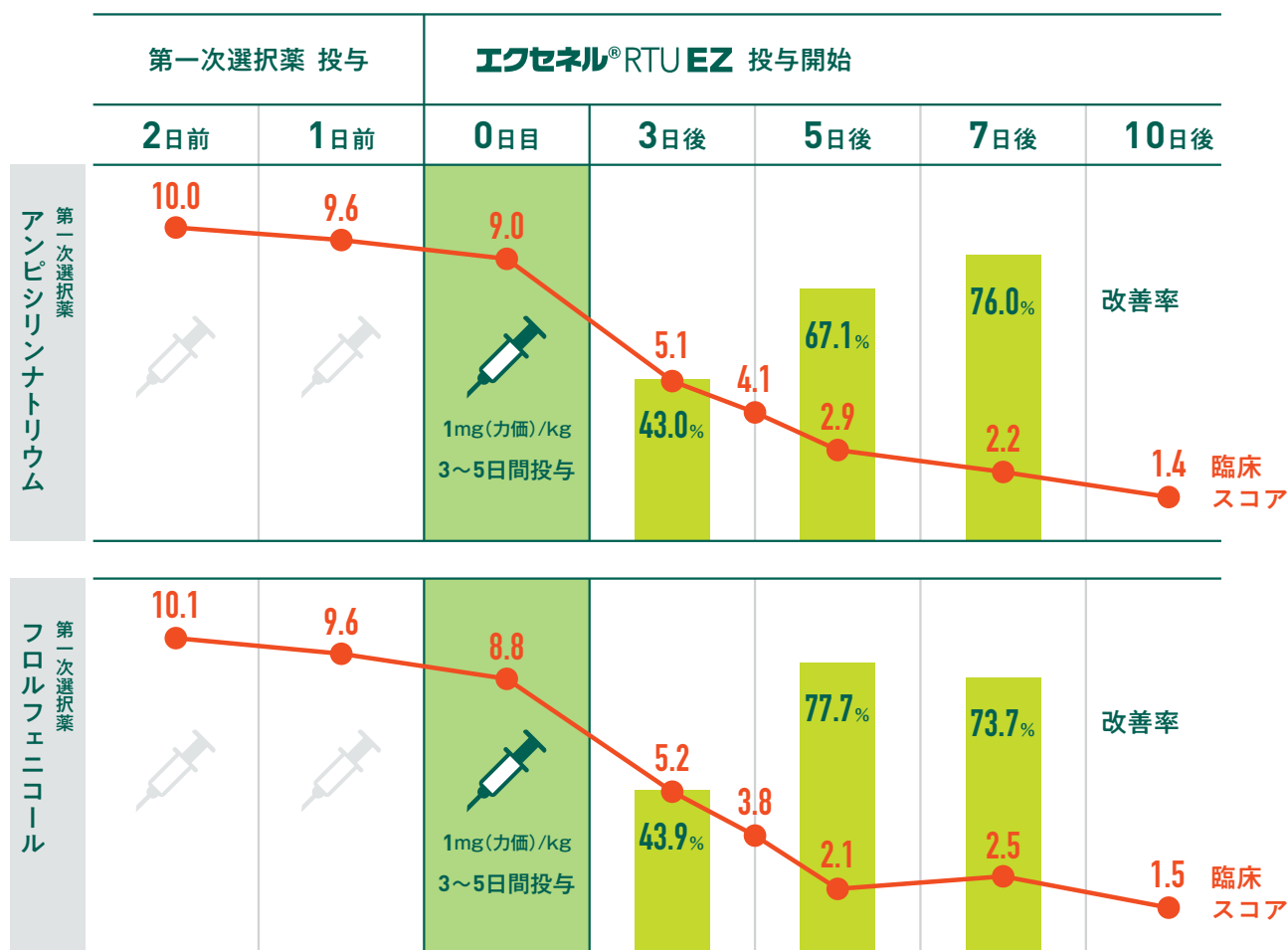
(Susceptibility profile of Bovine pathogens received at Iowa State university VDL 2013-2015)

ターゲットとなる肺炎起因菌に耐性化傾向はありません。
生産現場で問題となるマンヘミアヘモリチカに対してセフチオフルは高い有効性を示します。

■ 国内における有効性確認試験：第二次選択薬としての有効性

国内2カ所の農場において、第一次選択薬で2回の治療を受けた後も体温40.0℃以上、臨床スコア7以上の牛24頭を供試し、**エクセネル[®]RTU EZ**を1mg/kg、3~5日間筋肉内投与して臨床スコアの推移および改善率を評価しました。

なお、第一次選択薬投与初日に、供試牛を含む当該農場の呼吸器病発症牛の鼻腔内細菌を検査したところ、**マンヘミア ヘモリチカ**、**パストツレラ ムルトシダ**および**ヒストフィルス ソムニ**が検出され、呼吸器症状はこれら3菌種による細菌性肺炎によるものであると診断されました。



臨床スコア：呼吸状態・呼吸音・食欲および体温はスコア0~3、鼻汁・発咳・活力はスコア0~2で評価し、その合計を算出した。

(申請資料)

第一次選択薬が無効なマンヘミア ヘモリチカが関与する呼吸器病症例においても、**エクセネル[®]RTU EZ**は高い有効性を示しました。

充実したセフトオフル ファミリー。 ゾエティスは万全なラインアップで 治療をサポートいたします。



エクセネル[®]注



エクセネル[®]RTU EZ



エクセーデ[®]C

製 品	エクセネル[®]注	エクセネル[®]RTU EZ	エクセーデ[®]C
主 剤	セフトオフル ナトリウム	セフトオフル 塩酸塩	セフトオフル
適応症 (牛)	<ul style="list-style-type: none"> ● 肺炎 ● 趾間フレグモーネ ● 産褥熱 	<ul style="list-style-type: none"> ● 細菌性肺炎 	<ul style="list-style-type: none"> ● 細菌性肺炎
特 長	耐性化傾向のないセフトオフルを主剤		
	<ul style="list-style-type: none"> ● 3つの適応症 ● 注射部位組織に対する高い安全性 	<ul style="list-style-type: none"> ● 溶解の手間がなく、 簡便性が向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1回投与で少なくとも 7日間効果が持続
使用禁止 期間 (牛)	<ul style="list-style-type: none"> ● 乳 24時間 ● 肉 7日間 	<ul style="list-style-type: none"> ● 乳 12時間 ● 肉 12日間 	<ul style="list-style-type: none"> ● 乳 設定なし ● 肉 14日間
開封後の 保存期間	溶解後、 室温:12時間、冷蔵:7日間*	室温で42日間**	室温で12週間**
投与経路	筋肉内注射	筋肉内注射	耳根部皮下投与

※ 申請資料 溶解後の安定性試験
** 申請資料 使用時安定性試験

動物用医薬品

要指示医薬品 使用基準 指定医薬品

貯法 密封容器 室温保存



投与量の目安 *10kgあたり0.2mL

体重 (kg)	投与量 (mL)
50	1.0
100	2.0
150	3.0
200	4.0
250	5.0
300	6.0

【成分及び分量】

品名	エクスネルRTU EZ
有効成分	セフチオフル塩酸塩
含量	1mL中50.0mg(力価)

【効能又は効果】

【有効菌種】牛：マンヘミア ヘモリチカ、バストレラ ムルトシダ、ヒストフィルス ソムニ
豚：アクチノバチルス プロニューモニエ、バストレラ ムルトシダ、ヘモフィルス パラスイス、
ストレプトコッカス スイス

【適応症】 牛、豚：細菌性肺炎

【用法及び用量】

1日1回体重1kgあたりセフチオフルとして下記のとおり筋肉内に注射する。投薬開始後3日以内に治療効果を確認し、効果がみられない場合には獣医師の判断に基づき薬剤の変更等を行うこと。

牛：1mg(力価)、3～5日間
豚：1～3mg(力価)、3日間

【使用上の注意】

警告
本剤は、承認された対象動物以外(鶏・種卵など)には使用しないこと(セフチオフルナトリウムの水性注射剤の種卵への投与により、細菌の薬剤耐性率上昇を招いたとの報告がある。)

(基本的事項)

- 守らなければならないこと
(一般的注意)
 - 本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
 - 本剤は、効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
 - 本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。なお、用法・用量に定められた期間以内の投与であってもそれを反復する投与は避けること。
 - 本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。
- 注意：本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物(牛、豚)について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。
牛：食用に供するために殺する前12日間、又は食用に供するために搾乳する前12時間
豚：食用に供するために殺する前3日間

(牛及び豚に関する注意)

- 本剤は同一部位に反復投与しないこと。

(取扱い及び廃棄に関する注意)

- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。
- 注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒した器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと(ガス滅菌によるものを除く)。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。
- 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- 誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。
- 皮膚炎等のアレルギー症状を起こすことがあるため、皮膚に付着した場合は直ちに洗い流すこと。特に、ペニシリン系及びセファロスポリン系薬剤に過敏症反応を示したことがある人は注意すること。

(牛及び豚に関する注意)

- 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- 注射部位筋肉に変色が見られることがある。

(専門的事項)

- 対象動物の使用制限等
 - 次の動物には投与しないこと。
 - 過去にペニシリン系及びセファロスポリン系薬剤に過敏症反応を示したことがある牛及び豚
 - 妊娠中の牛及び豚への影響は検討されていないので、使用の是非は慎重に判断すること。なお、毒性試験において、生殖発生毒性及び遺伝毒性は報告されていない。
- 重要な基本的注意
 - 本剤は第一次選択薬が無効である症例に限り使用すること。
 - 本剤の使用に当たっては、耐性菌の発現等を防ぐため、原則として感受性を確認し、適応症の治療上必要な最小限の投与に止めること。
- 副作用
 - ペニシリン系及びセファロスポリン系薬剤は、まれに過敏症反応を起こすことが考えられるので、観察を十分にを行い、症状があらわれた場合は投与を中止し、適切な処置を行うこと。
- 取扱い上の注意
 - 沈殿が認められなくなるまでよく振り混ぜてから使用すること。
- その他の注意
 - 本剤を牛に1日1回、1カ所あたり15mLの容量で5日間反復筋肉内投与した投与局所忍容性試験において、1回目投与の7、14、28及び42日後に各2頭について剖検を行った。その結果、投与7日後の投与部位では2/2頭で筋肉に限局性の変色が認められたが、投与10日後以降の投与部位では認められなかった。筋膜の限局性の変色は、投与42日後の投与部位においても1/2頭で認められた。
 - 本剤を豚に1日1回、1カ所あたり5.0～5.6mLの容量で3日間反復筋肉内投与した投与局所忍容性試験において、1回目投与の7、14、28及び42日後に各2頭について剖検を行った。その結果、投与6日後の投与部位では1/2頭で筋肉に限局性の変色が認められたが、投与7日後以降の投与部位では認められなかった。筋膜の限局性の変色は、投与14日後の投与部位では1/2頭で認められたが、投与26日後以降の投与部位では認められなかった。

【有効期間】

24ヶ月

【包装】

100mL(100mL×1ガラスバイアル入)



最前線の疾病対策情報をWEBで公開!

会員登録するだけで、すべての動画をご視聴いただけます。

www.zoetis.jp/ls/cattle/index.aspx

ゾエティス 牛



検索

